

料金算定の前提となる 電力需要想定について

2022年12月26日
中国電力株式会社

1. 電力需要想定の方

- 至近の景気動向や競争環境などを踏まえ、料金原価算定期間の2023～25年度における電力量（kWh）と、夏季の1時間平均最大電力となる最大電力（kW）を想定しています（2022年度変更供給計画需要）。

電力量の想定

- 用途別に実績傾向や経済指標などから「離脱や節電などの影響がない場合の電力量」を想定しています。
- その結果から「離脱や節電などの影響」を反映して電力量を想定しています。

最大電力の想定

- 左記の想定電力量をもとに、電気の使用方を考慮したうえで最大電力を想定しています。

【前提となる経済指標】

	2021 (実績)	2022 (推定実績)	2023 (想定)	2024 (想定)	2025 (想定)
中国地域の人口（万人）※1	▲0.7 721	▲0.7 715	▲0.7 710	▲0.7 706	▲0.6 701
第3次産業固定資本ストック（KP3）※1 （兆円）	▲0.0 419.1	0.3 420.1	0.4 421.7	0.4 423.5	0.5 425.5
鉱工業生産指数（IIP）※2 （平成27年＝100）	5.0 95.9	2.5 98.3	1.8 100.1	1.4 101.5	0.4 101.9

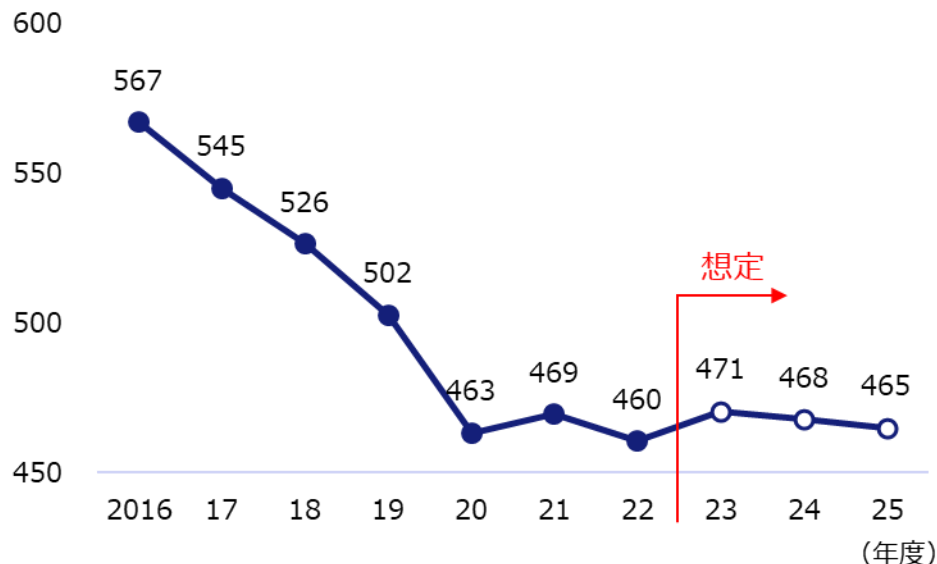
※1 電力広域的運営推進機関が策定・公表した「需要想定的前提となる経済指標」（2021年11月25日公表）を踏まえ設定しています。
（2021年度は推定実績値、2022年度以降想定値）

※2 中国地域。当社にて至近の景気動向等を踏まえ想定しています。（2021年度は実績値、2022年度は推定実績値、2023年度以降想定値）

2. 想定結果の概要

- 2023～25年度は、緩やかな経済成長に伴う産業用需要の増加はあるものの、低圧における離脱の増加などから、電力量・最大電力ともに減少傾向を見込んでいます。

(億kWh) 【電力量の想定結果（気温閏補正後）】

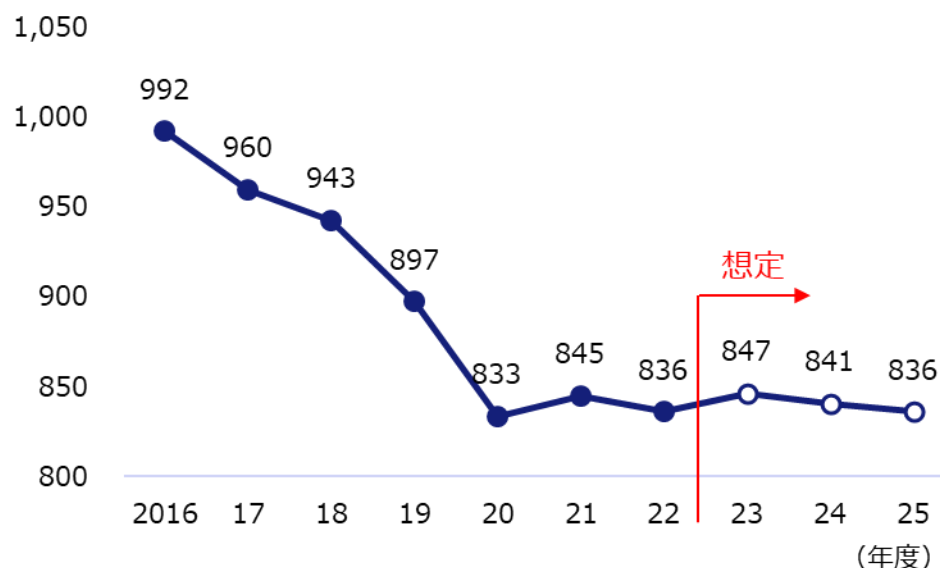


注1：2019年度までは離島需要・最終保障需要を含み、2020年度以降は含みません。

注2：自家消費分（建設工事用・事業用電力）を含みません。

注3：中国地域以外の需要を含みます。

(万kW) 【最大電力の想定結果（気温補正後）】



注1：夏季最大3日平均電力。

注2：2019年度までは離島需要・最終保障需要を含み、2020年度以降は含みません。

注3：自家消費分（建設工事用・事業用電力）を含みません。

注4：中国地域以外の需要を含みます。

(億kWh, %)

	2023	2024	2025
電力量	2.2 471	▲0.6 468	▲0.6 465

2023-25 平均
▲0.6 468

注：表内上段は対前年増加率。2023-25平均は年平均増加率。

(万kW, %)

	2023	2024	2025
最大電力	1.2 847	▲0.7 841	▲0.5 836

2023-25 平均
▲0.6 841

注：表内上段は対前年増加率。2023-25平均は年平均増加率。

3-1. 用途別電力量の想定（特定需要：電灯）

電灯（主要用途）の想定

<従量電灯 A>

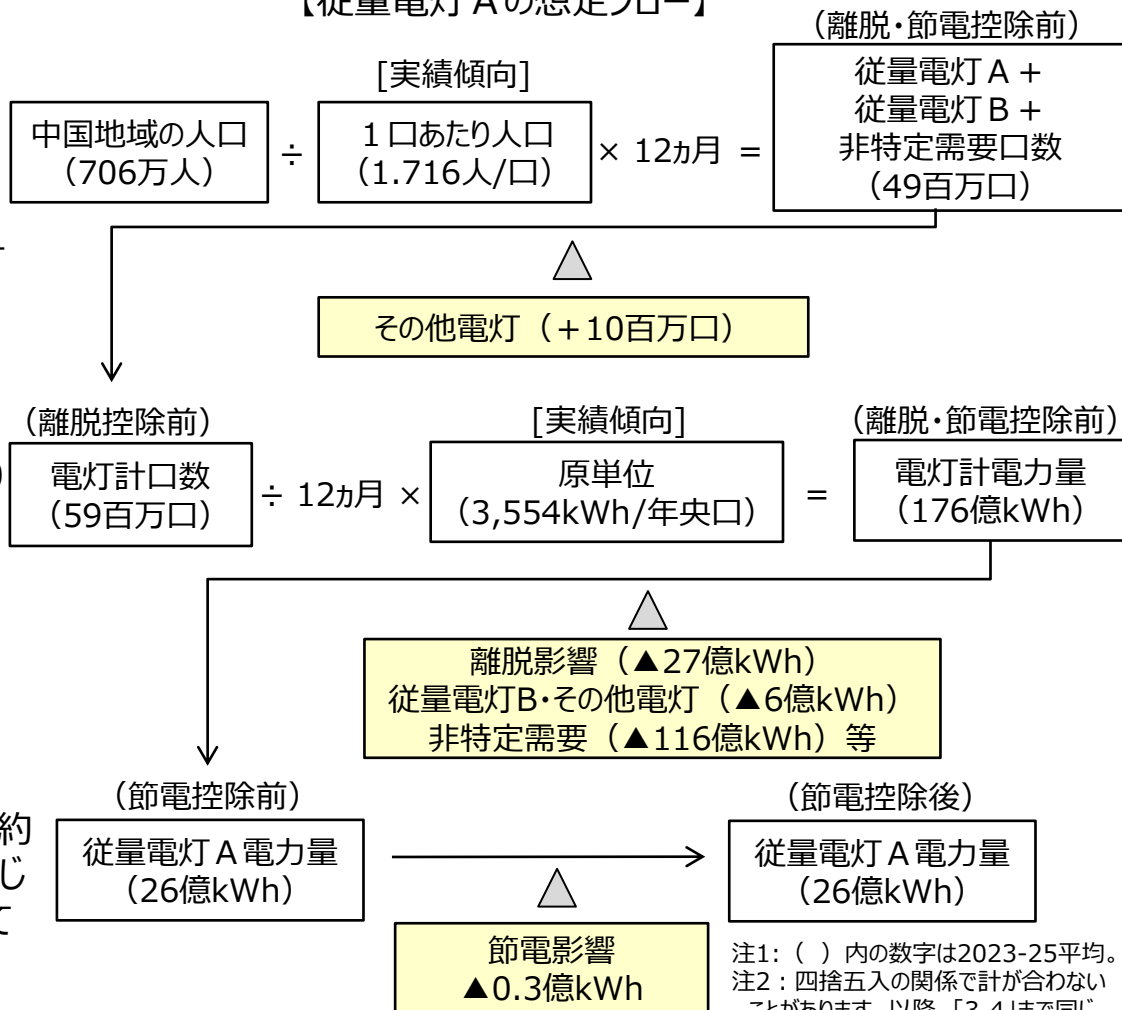
- 従量電灯 A の電力量は、想定した電灯計口数と電灯計原単位（1 口あたりの電力量）を乗じて算定した離脱控除前の電灯計電力量から、離脱影響、別途想定した従量電灯 B やその他電灯および非特定需要の電力量や節電影響などを反映して想定しています。

- 電灯計口数は、離脱控除前の「従量電灯 A + 従量電灯 B + 非特定需要」の口数（1 口あたり人口の実績傾向から想定）に、別途想定したその他電灯の口数を加算して想定しています。
- 電灯計原単位は、実績傾向から想定しています。

<従量電灯 B>

- 従量電灯 B の電力量は実績傾向から想定した契約容量と原単位（契約容量あたりの電力量）を乗じて算定したものから、節電影響を控除して想定しています。

【従量電灯 A の想定フロー】



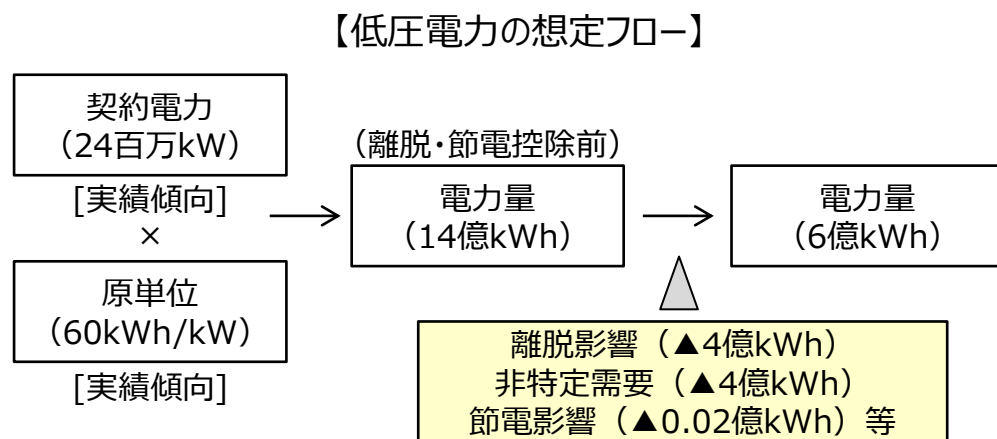
その他電灯の想定

- その他電灯（定額電灯・公衆街路灯・臨時電灯・農事用電灯）については、契約種別ごとに実績傾向から電力量を想定しています。

3-2. 用途別電力量の想定（特定需要：電力）

低圧電力の想定

- 離脱・節電控除前の電力量は実績傾向から想定した契約電力と原単位（契約電力あたりの電力量）により想定しています。
- その結果から、離脱、非特定需要および節電等の影響を控除して電力量を想定しています。



その他電力の想定

- その他電力（臨時電力・農事用電力）については、契約種別ごとに実績傾向から電力量を想定しています。

想定結果の概要（特定需要）

- 電灯は、離脱の増加や非特定需要への移行などから、2023-25平均で14.7%の減少を見込んでいます。
- 電力は、小規模店舗・工場の契約電力が減少傾向にあることに加え、離脱の増加や非特定需要への移行などから、2023-25平均で14.0%の減少を見込んでいます。

	2023	2024	2025	(億kWh、%) 2023-25 平均
電灯	▲11.4 36	▲13.0 31	▲16.3 26	▲14.7 31
電力	▲11.3 8	▲13.1 7	▲14.9 6	▲14.0 7

注 表内上段は対前年増加率（気温閏補正後）。2023-25平均は年平均増加率。

3-3. 用途別電力量の想定（非特定需要：低圧）

電灯の想定

- 契約種別ごとに実績傾向から想定した契約容量と原単位（契約容量あたりの電力量）を乗じて算定した電力量から、節電等の影響を控除し、別途実績傾向を踏まえて想定した中国地域以外の需要を加算して想定しています。

電力の想定

- 契約種別ごとに実績傾向から算定した電力量から、節電影響を控除し、別途実績傾向を踏まえて想定した中国地域以外の需要を加算して想定しています。

想定結果の概要（非特定需要：低圧）

- 電灯は、離脱の増加はあるものの、特定需要からの移行などから、2023-25平均で1.2%の増加を見込んでいます。
- 電力は、小規模店舗・工場の契約電力が減少傾向にあるものの、特定需要からの移行などから、2023-25平均で6.7%の増加を見込んでいます。

(億kWh、%)				
	2023	2024	2025	2023-25 平均
電灯	0.4 115	0.9 116	1.4 117	1.2 116
電力	6.8 6	7.1 6	6.3 6	6.7 6

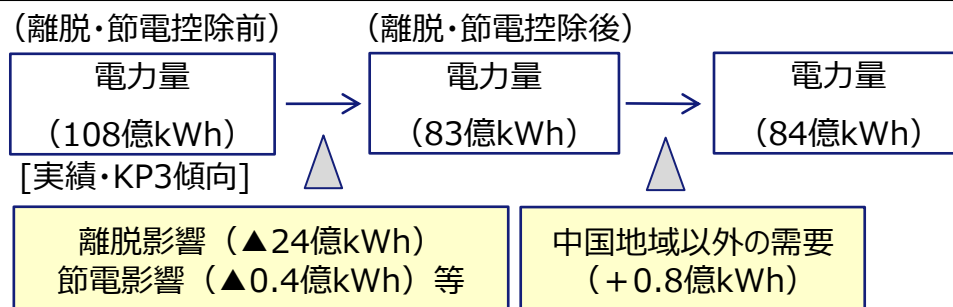
注1：表内上段は対前年増加率（気温閾補正後）。2023-25平均は年平均増加率。

注2：自家消費分（建設工事中・事業用電力）を含みません。

3-4. 用途別電力量の想定（非特定需要：高圧・特別高圧）

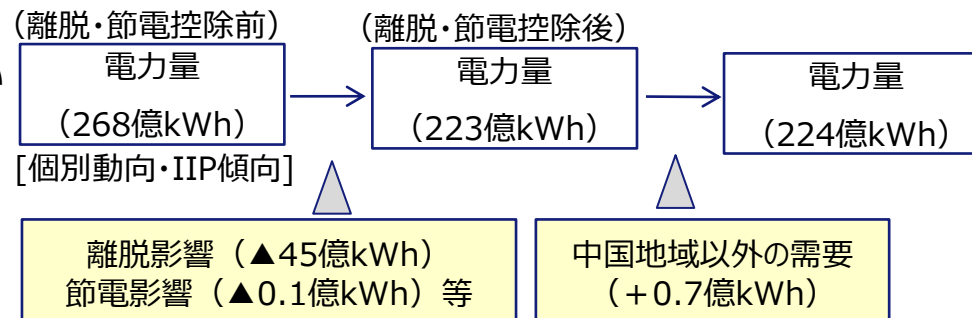
業務用電力の想定

- 離脱・節電等控除前の電力量を実績および第3次産業固定資本ストック（KP3）の傾向により想定しています。
- その結果から、離脱および節電等の影響を控除し、別途実績傾向を踏まえて想定した中国地域以外の需要を加算して想定しています。



産業用電力の想定

- 個別のお客さまの動向や鉱工業生産指数（IIP）を用いた相関により想定しています。
- その結果から、離脱および節電等の影響を控除し、別途実績傾向を踏まえて想定した中国地域以外の需要を加算して想定しています。



想定結果の概要（非特定需要：高圧・特別高圧）

- 業務用電力は、離脱の増加などから、2023-25平均で0.4%の減少を見込んでいます。
- 産業用電力は、緩やかな経済成長などから、2023-25平均で0.8%の増加を見込んでいます。

	(億kWh, %)			
	2023	2024	2025	2023-25 平均
業務用 電力	9.7 84	▲0.3 84	▲0.5 83	▲0.4 84
産業用 電力	3.5 223	0.7 224	0.8 226	0.8 224

注 表内上段は対前年増加率（気温閏補正後）。2023-25平均は年平均増加率。

4. 最大電力の想定

最大電力の想定

- 最大電力は、実績傾向などから想定した月間の電力量をもとに、1日の電気の使われ方（日負荷率）を考慮して想定しています。

8月の月間販売電力量

- 損失率を考慮

月間送電端電力量

- 最大電力発生日の上位3日の日電力量の比率を考慮

日電力量
(最大3日発生日の平均日量)

- 1日の電気の使われ方（日負荷率）を考慮

最大電力
(最大3日平均電力・送電端)

想定結果の概要（最大電力）

- 離脱の増加などから、2023-25平均で0.6%の減少を見込んでいます。

(万kW, %)

	2023	2024	2025	2023-25 平均
最大電力	1.2 847	▲0.7 841	▲0.5 836	▲0.6 841

注1：表内上段は対前年増加率（気温補正後）。2023-25平均は年平均増加率。

注2：自家消費分（建設工事用・事業用電力）を含みません。

注3：中国地域以外の需要を含みます。

5. 想定結果まとめ

(億kWh、万kW、%)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2023-25平均
	従量電灯 A	▲ 10.7 45	▲ 12.2 40	▲ 14.7 34	▲ 11.8 30	▲ 13.6 26	▲ 17.5 21	▲ 15.6 26
	従量電灯 B	▲ 17.7 4	▲ 8.9 4	▲ 3.7 4	▲ 12.3 3	▲ 15.8 3	▲ 17.7 2	▲ 16.8 3
	低圧電力	▲ 17.0 10	▲ 10.5 9	▲ 11.8 8	▲ 11.7 7	▲ 13.7 6	▲ 15.7 5	▲ 14.7 6
特定需要計		▲ 12.1 64	▲ 11.4 57	▲ 12.7 50	▲ 11.3 44	▲ 13.0 38	▲ 16.1 32	▲ 14.6 38
非特定需要計		▲ 7.1 400	3.4 414	▲ 0.5 412	3.8 428	0.7 430	0.8 433	0.7 430
電力量 合計		▲ 7.8 464	1.4 471	▲ 1.9 462	2.2 472	▲ 0.6 468	▲ 0.6 465	▲ 0.6 468
最大電力 (送電端・夏季最大3日平均)		▲ 7.1 833	1.4 845	▲ 1.0 836	1.2 847	▲ 0.7 841	▲ 0.5 836	▲ 0.6 841

注1：表内上段は対前年増加率（気温閏補正後）、下段は想定値（気温閏補正前）。

注2：特定需要計には「その他電灯」および「その他電力」を含みます 注3：2023-25平均は年平均増加率および3年平均想定値。

注4：自家消費分（建設工事用・事業用電力）を含みません。注5：四捨五入の関係で計算が合わない場合があります。

注6：中国地域以外の需要を含みます。

【参考】離脱電力量等

- 離脱電力量は、実績傾向を踏まえて想定しています。
- 節電電力量は、節電プログラムや2023年度以降の需給見通しを踏まえて想定しています。
- 受付再開に伴い、現在離脱されているお客さまのうち、当社へ復帰されるお客さまが一定程度発生すると想定しています。

【離脱電力量等】

(億kWh)

	2023	2024	2025	2023-25平均
離脱電力量	▲98	▲100	▲103	<u>▲100</u>
節電電力量	▲1.8	▲1.7	▲1.7	<u>▲1.7</u>
受付再開に伴う 戻り需要量	15	15	15	<u>15</u>

【参考】離脱需要について

- 離脱需要については、至近の市場価格の高騰などを背景とした競合他社の事業撤退および新規受付停止などによる増勢の鈍化傾向が継続するものと想定しています。

離脱需要の推移

- 2023年1月から受付再開を実施することにより現在離脱されているお客さまのうち、当社へ復帰されるお客さまが一定程度発生すると見込んでいることから、2023年度は前年度から離脱需要が減少すると想定しています。
- 一方で、低圧をはじめとした競争は継続するため、2024年度以降は離脱が増加するものと想定しています。

